プライベートAIサーバー

社内のファイルから、ローカルAIが答える。

TS-KCLOUD-A10i

社内資料を検索できるナレッジベースに。
質問への回答を本体内で生成し、
参照元のファイルまでたどれます。

A10i 製品レンダリング

社内情報から、出典を確認できる回答へ

01

社内ファイル

文書・画像・音声など

→

02

ローカルAI

索引・検索・回答生成

→

03

回答と参照元

根拠となる資料を確認

企業のAI活用を支える専用ハードウェア

160 TOPS

NPU @ INT8

本体内でAI処理

8 NVMe

SSDベイ

オールフラッシュ

10GbE

SFP+ × 2

高速ネットワーク接続

導入から運用まで、一台で

ACCELER / オールフラッシュシリーズ

起動後わずか1分で業務へ

中小零細企業に、企業級のプライベートクラウドストレージとAIコラボレーション環境を提供。エンタープライズAI統合生産性プラットフォームです。

導入・運用の価値

01 ファイルと知識をチームで共有

ファイル管理とAIナレッジベースを同じ環境で利用。保存した情報をチームで探し、共同作業につなげます。

02 アウトオブボックスで即時利用可能

ネットワークに接続して電源を入れれば、わずか1分で利用開始。専門のIT運用担当者がいなくても、バックオフィス部門で設定できます。

03 ソフト・ハード・ストレージ・AIの四位一体

teamOS、オールフラッシュストレージ、AI演算能力を一台に統合。ファイル管理、作図、マインドマップ、ナレッジベースを利用できます。

04 24時間365日常時オンライン

NATトラバーサルサービスを内蔵し、外出先からも安全にアクセス。24時間365日のリモート技術サポートにより、専任の運用担当者は不要です。

4つのソフトウェア特長

01

一元管理・超高速アクセス

Windowsのような操作感。
CAD・PSを含む300種類以上の
ファイル形式をオンラインでプレビュー。
・超高速アップロードとFileMatchによる重複排除
・ブラウザー、クライアント、アプリからアクセス
・ローカル、Alibaba Cloud、Tencent Cloud、S3を統合マウントし、情報の分断を解消

Windowsライク / 300種以上

02

共同編集・業務連携

Microsoft Office／WPS文書と互換。複数人のリアルタイム共同編集に対応。
・履歴バージョンを無制限に復元
・ファイルディスカッション、編集ロック、動向確認
・プロジェクト管理、ホワイトボード、
作図、マインドマップ
・DingTalk／WeChat Work／Lark
にワンクリックで連携

共同編集 / 履歴バージョン

03

権限管理・データ保護

SSL通信と暗号化ストレージによる多層暗号化。多次元の権限を細かく設定。
・ランサムウェア対策、二段階のごみ箱
・動的電子透かし、全期間の監査ログ
・ファイル承認と共有範囲のコントロール

権限設定 / 監査ログ

04

AIアシスタント・知識ベース

社内ファイルをそのままAIナレッジベースにして質問。本体内のローカルLLMで回答。
・文字、画像、音声、動画の
マルチモーダルRAGハイブリッド検索
・クラウドストレージの権限分離と回答元の追跡
・ノーコードの専用エージェントをワンクリック公開

RAG / ローカルLLM応答

ローカルLLMで社内資料を活用

A10i本体で動くローカルLLMが、社内資料を参照して質問に回答。
検索から回答の根拠確認まで、同じ環境で進められます。

LOCAL LLM / オフライン運用

ローカルLLM

現行採用モデルはQwen3.6-35B。社内ファイルをナレッジベースとして使い、本体内で回答を生成します。

NPU 160 TOPS @ INT8

専用メモリー 24GB LPDDR5

社内資料から回答まで

01 取り込む

文書・画像・音声・動画をナレッジベースへ

02 読み取る

OCRやEmbeddingで内容を検索しやすく整理

03 探す

RAGとハイブリッド検索で関連情報を抽出

04 答える

ローカルLLMで回答を生成し、参照元をたどる

現場で使うための機能

01

マルチモーダル検索

文字だけでなく、画像・音声・動画も対象に。資料を移し替えずにナレッジベースとして使い、形式をまたいで情報を探せます。

02

権限と回答の根拠

クラウドストレージ側の権限を分離して適用。回答がどの資料に基づくかを追跡でき、確認しながら業務に使えます。

03

専用エージェント

ノーコードで用途別のAIエージェントを作成。社内向けに公開し、問い合わせ対応や資料確認などの作業に使えます。

A10iが合うチーム

組織の規模に加え、情報をどこに置き、誰と使うか。製品規格書では次の4つの利用者像を挙げています。

01

中小企業

1〜50人規模のチームや企業。プライベートクラウドとAIコラボレーション環境を構築し、分散したファイルを一か所で管理したい組織。

1〜50人 / 分散ストレージ

02

データセキュリティ重視型

金融、法律、医療などの業界。厳格なデータコンプライアンス要件に対応し、イントラネットでのプライベート展開やきめ細かい権限管理を必要とする組織。

金融・法律・医療 / 権限管理

03

AI導入の先駆者

企業のAIナレッジベースやエージェントを迅速に導入したい組織。
複雑な展開プロセスを経ず、LLMの業務での使い方をすぐ試したいチーム。

ナレッジベース / エージェント

04

ドキュメント集中型チーム

テクノロジー、メディア、建築、デザインなど、大量のファイルを扱うチーム。高速ストレージ、共同作業、多様な形式のプレビューを必要とする組織。

大量ファイル / 多形式プレビュー

ハードウェア仕様

本体・ストレージ・AI

プロセッサー	Intel Core i3-1215U 6コア／8スレッド
システムメモリー	32GB DDR5
NPU専用メモリー	24GB LPDDR5
システムドライブ	256GB NVMe M.2 SSD
データ用SSD	8×M.2 NVMe PCIe 3.0×2
ストレージ容量	8〜64TB（8ベイ）
RAID	標準RAID 6 複数のRAIDレベルに対応
AI演算	160 TOPS @ INT8（NPU）

通信・インターフェース

有線LAN	2×2.5GbE RJ45
10GbE	2×10GbE SFP+
ポート速度合計	25Gbps（標称値） 2.5GbE×2＋10GbE×2
USB4	2×Type-C @ 40Gbps
USB 3.2 Gen2	2×Type-A @ 10Gbps
外部機器	Thunderbolt 4互換
本体寸法	297 × 210 × 45 mm
OS	teamOS（自社開発）

KEIAN TeamStation | TS-KCLOUD-A10i

恵安株式会社 | 03-3980-6442

support@keian.co.jp | keian.co.jp